

令和6年度全国中学校体育大会 第53回全国中学校ハンドボール大会

競技規則並びに競技上の注意

1 競技規則

- (1) 本大会は、令和6年度年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及び本大会の申し合わせ事項で行う。
- (2) 競技時間については、男女とも25分-10分-25分とする。
規定の時間内で勝敗が決しない場合、準決勝までは第1延長、決勝は第2延長まで行う。
それでも決しない場合は7mTC(5名)を行う。
- (3) 男女決勝のみ、メインアリーナセンターコートで実施する。
- (4) 競技会場、試合球は次の通りとする。
 - ①試合球は男女とも、(公財)日本ハンドボール協会検定球を使用する。
(株)モルテンd60と(株)ミカサ新规定HBシリーズを使用する。
 - ②競技会場について

日付	回戦	会場・広さ	使用ボール
8月20日 (火)	男子1回戦 女子1・2回戦	AB:氷見市ふれあいスポーツセンターメインアリーナ (40m×20m)2面 C:氷見市ふれあいスポーツセンターサブアリーナ (40m×20m)1面 D:氷見市立南部中学校体育館(40m×20m)1面	男子=ミカサ 女子=モルテン
8月21日 (水)	男子2・3回戦 女子3回戦	AB:氷見市ふれあいスポーツセンターメインアリーナ (40m×20m)2面 C:氷見市ふれあいスポーツセンターサブアリーナ (40m×20m)1面	男子=モルテン 女子=ミカサ
8月22日 (木)	男女準決勝 男女決勝	AB:氷見市ふれあいスポーツセンターメインアリーナ (40m×20m)2面 S:氷見市ふれあいスポーツセンターメインアリーナ (40m×20m)1面	男子=ミカサ 女子=モルテン

2 競技上の諸注意

【監督会議での確認】

- (1) アイマスク・コルセット・プロテクター等を身につけたい場合
 - ①日本ハンドボール協会が定める「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に準ずる。
 - ②装具は監督会議に持参し、会議終了後、競技委員長・審判長の確認を受ける。
 - ③競技時のコルセットは、ユニホームの中に入れる。
- (2) チーム帯同のトレーナーについて
 - ①事前に実行委員会に申請し、競技委員長の許可を得た者に限る。
 - ②トレーナー席での写真や動画撮影は禁止とし、IDカードをつけてベンチ後方の席に座る。
- (3) 技術的機器について
 - ①日本ハンドボール協会が定める「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」に準ずる。

【試合前の確認】

- (1) トス、ユニホームおよび登録証の確認について
 - ①各日第1試合と1日目氷見南部中コート第4試合、女子決勝は試合開始30分前、それ以外の試合は前の試合の前半終了直後に、ジャッジズテーブル前にて行う。
 - ②代表者は、CP・GKのユニホーム(計4色以上)を持参し、審判員・テクニカルオフィシャル(以下TO)の許可を得る。
 - ③選手とチーム役員の登録証(学校管理職、トレーナーを除く)を持参し、TDに提出する。
 - ④プログラムを使用するので、メンバー表の提出は必要としない。
- (2) 選手の服装等について
 - ①ユニホームの外にアンダーウェアが出るようであれば、ユニホームの基調色と同色でなければならない。着用しない選手にあってはその限りではない。また、基調色以外にユニホームに使用されている色のアンダーウェアの着用が認められる。その場合、試合前に認められたチームで統一された色でなければならない。

- ②ソックスの色は、チームで統一すること（メーカーのロゴは問わない）。
 - ③ハチマキは結び目より先を短くし、長い髪は危険のないように結ぶこと。
 - ④松ヤニおよび粘着スプレーの使用は不可、両面テープは使用可とする。但し今回の新規規格ボールは、「Handballs played without resin」の仕様のため素手でプレーすることを推奨する。
 - ⑤金属・プラスチック製のピンは使用できない。また、プロミスリングは、外すかテーピング等で覆う。
 - ⑥爪は相手に傷をつける要因となるため、きちんと切っておくこと。
- (3) チーム役員の服装等について
- ①原則、襟付きシャツ・スラックスとする。また、服装の上着の色は、相手チームのCPユニホームと同系色のものは、着用できない。コイントス時に相手のユニホームの色を確認し開始前までに対応する。
 - ②試合中の言動は教育者や指導者として節度あるものとなるようにする。

【試合開始前の確認】

(1) ベンチの人数等について

- ①チーム役員4名（監督1名・役員3名）及び選手15名の19名以内とする。
- ②監督は役員表示「A」、その他の役員は役員表示「B」～「D」をつけなければならない。
- ③役員表示「A」だけがタイムキーパー・スコアラー・TD、可能であればレフェリーと話すことができる。
- ④トレーナーがいる場合は、トレーナー席に入ることを認める。IDカードを着用する。なお、競技中に選手を処置する際は、ベンチ席後方またはトレーナー席にて対処すること。

(2) 公式記録用紙について

- ①試合開始前、監督はメンバーの確認、役員（A～D）を記載の上、公式記録用紙にサインすること。
- ②試合終了後にレフェリー・TDが記録用紙を確認して、サインすることによって公式記録が成立する。

(3) ベンチでは各自、自分の荷物を管理すること。特にマスク等は各自で管理すること。

- (4) 公示時計（加算式）を使用し、タイムアウトは電子ホイッスルで、試合終了の合図はホーンで行う。ただし、ホーンが聞こえにくい場合は、TDの笛の合図で対応する。

(5) 電光掲示板について

- ①チーム表示は、トーナメント表の若番を左側に固定する。
- ②退場者の再入場については、公示時計及び退場者タイマーを見て行う。
電光掲示板の故障等により電光掲示ができない場合は、ジャッジズテーブルに用紙にて入場可能時間を掲示する。

【競技中の確認】

(1) 試合の入退場時について

- ①入場はサイドラインから中央に向かって一斉に入場し、審判の指示に従いあいさつをする。
- ②試合終了後、相手選手とのすれ違いながらハイタッチをし、相手ベンチに行きあいさつをする。

(2) 交代地域のコーチングゾーン規定について

- ①各種の指示をするために1名が立つことが許される。
- ②センターラインから3.5mの位置を始点とする。
- ③アウターゴールラインから8mの位置を終点とする。

(3) 選手がベンチから常時指示を出したり、一斉に合わせて応援したりすることは禁止しない。

(4) 試合に途中出場するためのアップについて

- ①ベンチ席後方の座席範囲のみとし、ボールを使用することはできない。

(5) 給水について

- ①試合前後・競技中・ハーフタイム・チームタイムアウト時の給水は、コートの外で行うこと。
- ②床が濡れた場合は速やかに雑巾等できれいに拭き取ること。
- ③熱中症対策として試合中に給水タイムを設ける。（詳細は別紙「給水タイムに関するガイドライン」参照）
なお、設定は前半および後半の12分30秒前後に設定する。

(6) ハーフタイム中について

- ①荷物を速やかに移動し、給水する水筒・ペットボトル等は共用しないこと。

(7) 試合終了後について

- ①ベンチの荷物を速やかに撤収し、ごみを拾い、濡れた場所をきれいに拭いておく。